

ご協力ありがとうございます！

【10月の新入会】(敬称略)

相良 加世子 (大分推進協議会)

姫嶋 正広 (大分推進協議会)

安部 昌司 (大分推進協議会)

神池 美左 (センター)

【10月の寄付品】(敬称略)

柴戸純子、山田哲夫、村松明、關礼子、久我まち子、ライオン

中嶋久美子

鬼木大明神 今月の一匁

人生は次から次に大きな壁や問題にぶち当たるものだ。その壁、問題は志す夢を実現させる途上の小さな出来事にすぎないと見え！プラス思考で何があっても乗り越えるぞ！と自分に言い聞かせろ！さすれば起死回生の一手が必ず生まれる。この世に解決できない問題は一つもないと達観せよ！そしてその志す夢は「大ぼら吹き」と人に笑われるくらい大きなものにチャレンジしろ！！



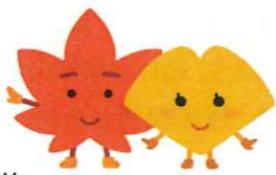
福岡アジアフィルムフェスティバル 2021

福岡アジアフィルムフェスティバルが 10 月 7 日～12 日迄福岡アジア美術館で開催され期間中は多くの方にご来場いただき映画鑑賞をしていただきました。会場受付にはオイスカの農産物加工品やアジアの手作り民芸品を展示して販売をさせていただきました。ご来場いただきお買い求めいただきました方々には心より御礼を申し上げます。併せてこの度この映画祭を企画いただきました福岡リバティライオンズクラブ会長の北村義弘様(株)シップス代表取締役)にはこのような機会をいただき本当にありがとうございました。(満川)



11月の予定

- 2日 九電生協研修
- 7日 第8回大野城市日本語スピーチコンテスト
- 8日 インドネシア独立記念日式典
- 10日 高田川部屋入所
- 13日 収穫感謝祭・秋
- 20日 帰国研修生報告会
- 23日 東峰村百年の森植林
- 24日 ホテルオークラ社員研修
- 25日 福岡県庁農産物販売会(26日)



体験農園だより

後期秋冬作が始まってから1ヶ月が経ち、新たに1組加わって、計38組で体験農園を行っています。今年は10月中旬まで長い晴れによる乾燥のため、なかなか定植・播種がうまくいかない月でした。何とか補植を繰り返して、現在は元気に育っています。そんな中、前期春夏作で植えたサツマイモやネギも収穫を迎ました。約半年かかる収穫に皆様待ちわびているようでした。また早いもので、ハクサイも収穫を迎えました。2ヶ月ほどで収穫でき、良かったです。

また10月2日(土)には稲刈り大会を開催いたしました。88名の方がご参加くださいました。6月に自分たちで植え付けた稻を収穫できて、とてもうれしそうにしていました。なかなか体験できる機会のない稲刈りを無事に行えてよかったです！(飯川)



福岡市西区ハロウィンふれあい市農産物販売

10月30日(土)第4回目福岡市西区生松台のハロウインふれあい市に出店しました。秋・冬野菜をはじめ加工品・アジアの民芸品21品目を販売しました。農産物を楽しみにされている方も多くたくさんの方にお越しいただきお買い求めいただきました。又今回はハロウインのイベントも行われ会場では福岡市立西陵高校の皆さんのが踊りを披露して会場を盛り上げました。(満川)



まるごと!西日本

発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部

福岡市早良区小笠木 678-1

TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322

E-mail: oiscantc@oisca.org 検索 オイスカ西日本



←Facebookに日頃の様子を更新中!
是非チェックお願いします!



第693号

令和3年11月号付録

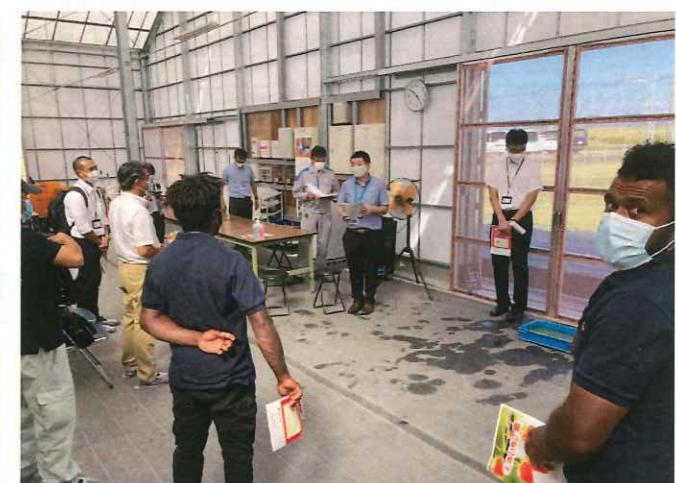


←Facebookに日頃の様子を更新中!
是非チェックお願いします!

朝倉産業視察 九州電力イチゴハウス

10月5日、朝倉市の九州電力総合研究所の実験施設「上寺いちご園」の視察に行きました。最新のDX(デジタル・トランスフォーメーション)技術を使い、年中収穫できるいちご栽培の研究施設でした。温度管理から日照管理、湿度、灌水等、栽培管理をデジタル化し、季節にとらわれない作物作りの実験施設として研究されていました。

研修生、スタッフも驚きの連続で、非常に参考になりました。研修生の母国ではまだ活用できる技術ではないかもしれません、その仕組みを知ることにより、色々な発想が出てくるものと思います。九州電力の皆様、貴重な体験を頂きありがとうございました。(廣瀬)



日本エコシステム様からのご招待でエミューのバーベキュー大会に参加

センター内の園場を活用してエミューの飼育を共同で行っております日本エコシステムの藤澤社長さんからのご厚意で、10月20日に九州自動車道の基山サービスエリアのすぐ隣にあるエミュー牧場の敷地内で、研修生共々バーベキュー大会に招待していただきました。(午前中は草刈りのお手伝い)

エミューといえば、最近熊本県の菊池町でエミューが數十頭も逃げ出し、警察から消防から出動して大掛かりな捕り物劇を演じた映像が思い出されますが、そのエミューのお肉をふんだんに使ってのバーベキューということで、まさに贅沢なご馳走をいただきました。エミューのお肉は高たんぱく低脂肪のヘルシーなお肉で、とても食べやすく本当に美味しかったです。センターの研修生も大半が12月に帰国するため、帰国前に美味しい思い出を作ることが出来てよかったです。(豊田)



農場研修風景

センターから 3 分ほど車で行った脇山の城の原(じょうのはる)という山手の地区で、5 年前に植えた早生ミカン(宮川)がだいぶ大きくなり、今年はじめてまともなミカンを収穫する事ができました。ミカンの場合、木が若い時はどうしても実が大きくて皮が厚くなるため食べてもあまりおいしくないので、ここ数年はたいした収穫も出来ずに大丈夫かと心配していました。しかし、今年のミカンは、ろくに管理も出来ない状況の中で立派に育ち、皮も薄くまあまあ美味しいミカンになってくれたので本当によかったです。

ちょっと酸っぱいという声もありますが、センターのほぼ有機栽培のミカンを食べてみたい方は、是非早いうちにセンターにおこしください。(豊田)



OB 研修生紹介

今回紹介します OB 研修生は、フィリピンのダバオ州に在住しているチャービックさんです。チャービックさんはとても明るい性格で、研修期間中は常に研修生のリーダー的な存在で、みんなを引っ張っていく力を持った女性でした。現在フィリピンのダバオ州で何をしているのでしょうか。



<チャービックさんからのコメント>

みなさんこんにちは。私は、日本での OISCA 研修終了後、2012 年 5 月から 2013 年 3 月まで OISCA ダバオでボランティアを務めましたが、経済的な理由で退社しました。家族を養うためには安定した仕事が必要でした。幸い、2013 年 3 月 27 日にフィリピンのココナツ局にココナツ開発責任者として仕事に就くことが出来ました。私は現在、フィリピンココナツオーソリティで農学者として働いています。フィリピン、ダバオデオロのモンカヨとモンテビスタの自治体でココナツ農家に技術指導などを行っています。

私の家族は、夫、娘の 3 人です。私の夫の名前はジェシー C. モンタニエスです。彼は現在、フィリピンのダバオデオロにあるモンカヨの市営農業局で家畜検査官として働いています。私の娘は 4 歳になりました。

<オイスカのスタッフとメンバーへのメッセージについて>

オイスカがそのビジョンと目標を大切にし続ける中で、オイスカの組織が発展していくことを願っています。オイスカの生活は必ずしも楽しいことばかりではないかもしれません、スタッフ、メンバー、研修生、サポーターの努力と献身的なサポートにより、オイスカはいつでもこれから何年も前向きに進歩できると信じています。

私が来日して農業研修生だった頃は、家族から遠く離れていたので、日本での生活はひとつの挑戦でした。しかし、知識を広げて実際の農業について学びたかったので、それでも良い学習体験が出来、日本の農法は技術的にも驚かされました。オイスカ西日本研修センターでの研修生としての 11 か月の間に、日本人の勤勉さと時間をどのように大切にしているかを知ることができました。特に仕事の面ではとても勤勉でした。

また、東南アジアや太平洋諸国からの研修生と一緒に暮らすことで、異文化に対する理解を深め体験することができました。

そして日本の美しくて素晴らしい景色、お祭り、食べ物を体験できてうれしかったです。

みなさん、これからもあたたかい応援よろしくお願いします。



会員様紹介 株式会社 南電工 様

く入会のきっかけ>九州電力様からのご紹介でオイスカ様へ

入会させて頂きました。オイスカ様の今後益々のご発展を心よりお祈りしております。

<会社紹介>

科学技術の進歩によりどこからでも簡単に、世界中の情報や物を手に入れる事が可能になりました。それは日々留まる事を知らず便利な生活もよりよく進化していきます。当社は急速に進化する現代社会や様々なニーズに対応できるよう、新しい知識と技術の修得に力を入れています。ISO 9001 と ISO 14001 の認証を取得し商品の品質向上に努め、環境保護を考慮した省エネ活動も行っています。電気工事業を通じ地域社会に貢献する・技術の研鑽と社会の要請に応えるという当社の社是を基に、お客様からの信頼度 No.1 の南電工を目指していきます。今後とも変わらずお引き立てのほど、宜しくお願ひ申し上げます。



所在地:鹿児島県鹿児島市天保山町 22 番 28 号

電話:099-254-3101

代表:代表取締役社長 畠田 実

創業:64年

従業員:約 170 名

事業内容:電気設備工事、電力インフラ、通信工事、空港関係設備



<https://nandenko.co.jp/>

会社 HP

海岸林再生プロジェクト研修

10 月 22 日(金)~25 日(月)、園田・飯川が宮城県名取市での研修に参加しました。オイスカでは、東日本大震災の復興支援として、被災地の一つである名取市にて 2012 年から海岸林再生プロジェクトを行っています。本研修では、西日本 TC の他にも東京本部や中部 TC、四国 TC からも 2 名ずつスタッフ・インターン・ボランティアが参加し、本部 吉田 GSM 担当部長と林広報室長、浅野主任による指導の下、2014 年より行っている植林地で、排水性の改善のための溝切作業や生育状況を把握するための樹木調査などを行いました。また現場作業だけでなく、本プロジェクトにおける運営の流れや広報戦略の考え方についてのレクチャーもしていただきました。以下、感想です。

「行きたいと思っていた現場に行けただけでなく、今までの運営の流れや広報戦略といった西日本 TC でも活かせるレクチャーを聞くことができて大変有意義な四日間でした。今回学んだことを今回限りで終わらせないように努めたいと思います。」(飯川)

今年の 7 月に本部の浅野さんから海岸林の活動報告を聞いて名取市へ行ってみたいなと思っていました。実際に現場へ行ってみると想像を超える数のボランティアの方、応援して下さっている方のおかげでこのプロジェクトが成り立っていることが分かりました。プロジェクトが始まって 10 年という節目に研修に参加させていただけたことを嬉しく思います。

これからは西日本研修センターのことはもちろんですが、海岸林再生プロジェクトのことや中部、四国センターのこと多くの人に知ってもらえるように PR していきたいです。コロナ禍で人に会えない中、久しぶりに多くの方にお会い出来ていい刺激を受けました。皆さんから学んだことを自分に取り入れてこれからも頑張ります。まるごとお読みの皆様も機会があればぜひ海岸林へ行ってみてください！(園田)

